

2022年 5 月25日

各 位

会 社 名 株式会社五健堂  
(コード：9146 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役 蓮尾 拓也  
問合せ先 専務取締役 小林 一彦  
T E L 075-612-6688  
U R L <https://www.gokendo.co.jp/>

### 株式会社三輪タイヤの株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社三輪タイヤ（以下「三輪タイヤ」という）の全株式を取得し、完全子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 株式取得の理由

当社グループは、食品物流を中心に事業展開を行ってきており、物流センターを拡大し、食品物流のすべての工程において、安全性と高い品質のサービスの提供を可能とする体制を構築してまいりました。またその中でグループ各社の多様性を活かしたESG経営への取り組みにより、社会への貢献と同時に収益性の高い事業構造を確立することで、総合物流企業として更なる発展を続けることを目指しております。

今回の対象会社である三輪タイヤは、昭和47年創業と長い歴史があり、営業地域において大型車用タイヤのトップシェアを誇ると同時に、サプライチェーンの要である物流をタイヤの保守管理という面から支える重要な役割を担う企業です。

この度のグループ化により、当社としてはグループの多様性において一層の拡大が図れるとともに、関連する業界であることから様々なシナジーが見込めるものと考えております。また三輪タイヤにおいても、グループの一員となることで、今後の業容拡大や新規事業への取り組み等での企業価値向上が期待できることから、双方にとって極めて有意義な取り組みであるとの判断に基づき、本件株式取得を行うものです。

#### 2. 株式を取得する会社の概要

(1) 名 称	株式会社三輪タイヤ
(2) 所在地	京都府京都市山科区小野鐘付田10番地の2
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 三輪 智信
(4) 主な事業内容	タイヤ販売メンテナンス 出張タイヤ交換 電源機能搭載特装車の開発・製造
(5) 資本金	10百万円
(6) 設立年月日	1975年6月18日
(7) 発行済株式総数	20,000株
(8) 大株主及び持株比率	三輪 智信 79.0% 三輪 祐子 17.5%

(9) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はございません。	
	人的関係	該当事項はございません。	
	取引関係	当社は対象会社よりタイヤの購入等を行っております。	
(10) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
純資産	140,040千円	158,565千円	175,944千円
総資産	883,426千円	898,150千円	958,473千円
1株当たり純資産	7,002円3銭	7,928円2銭	8,797円21銭
売上高	638,248千円	638,799千円	688,755千円
営業利益	△6,956千円	25,530千円	19,141千円
経常利益	6,713千円	23,259千円	26,022千円
当期純利益	6,084千円	18,524千円	19,379千円
1株当たり当期純利益	304円21銭	926円21銭	968円95銭

### 3. 株式取得の相手方の概要

(1) 氏名	三輪 智信 他2名
(2) 住所	京都府京都市
(3) 上場会社と当該個人の関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（所有割合：0%、議決権の数：0個）
(2) 取得株式数	20,000株（議決権の数：20,000個）
(3) 取得価額	相手側の意向により非公開としておりますが、当社の直前会計年度の末日における連結純資産の15%未満となります。また、公平性・妥当性を確保するため、第三者算定機関による株式価値の算定結果を勘案し決定しております。
(4) 異動後の所有株式数	20,000株（所有割合：100%、議決権の数：20,000個）

※株式を取得するため、金融機関から資金調達を行いますが、当該資金の借入は、当社の直前連結会計年度（2021年12月期）末日における純資産額（2,726,533千円）の30%未満であります。

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2022年5月25日
(2) 契約締結日	2022年5月25日
(3) 株式譲渡実行日	2022年6月1日（予定）

### 6. 今後の見通し

本件株式取得における当期連結業績への影響につきましては、売上高で468百万円、経常利益で41百万円程度の増加を見込んでおりますが、詳細は現在精査中であり、明らかになり次第、2022年4月1日付で子会社化を行った有限会社六ツ星運送の予算と合算の上で、速やかにお知らせいたします。

以上